

新年のご挨拶



北原 保雄
(独立行政法人日本学生支援機構理事長)

明けましておめでとうございます。

旧年中は本機構の事業につきまして、皆様には格別のご協力ご支援を賜り誠にありがとうございました。創設三年目を迎え、決意を新たに諸事業に取り組みたいと思っておりますので、本年もよろしくお願いいたします。

本機構は学生生活支援事業、奨学金貸与事業、留学生支援事業の三つを大きな柱とし、社会のグローバル化や学生の多様化に対応し、次代を担う豊かな人間性を備えた創造的な優れた人材を育成するとともに、国際理解・交流の推進を図ることを目的としております。本部機能のほか全国の主要都市に支部を設け、全国の高等教育機関における学生支援を先導する共同利用的中核機関として、日本人学生と外国人留学生の両方を対象に総合的な支援・施策を実施して参ります。

学生生活支援業務においては、昨今、学生の多様化、複雑化、専門化が一層進み、きめ細かい対応が求められると予想されます。学生生活支援業務の直接の担い手は各大学ですが、本機構としては学生生活支援業務に

携わる教職員を対象とした情報提供事業、各種研修事業、調査研究事業などを通し、学生相談、修学支援、就職支援の一層の充実を図って参ります。

情報提供事業では、平成十八年度初めに「学生支援情報データベース」が稼動する予定ですが、昨年は、このデータベース構築に必要な「大学等における学生生活支援の実態調査」にご協力いただき誠にありがとうございました。「学生支援情報データベース」稼動の際にはホームページ等によりご案内しますので、ご活用をお願いいたします。

また、本誌をはじめとして、ホームページ等各種メディアを通して、様々な学生生活支援に関する情報の提供を行うことにより、きめ細かく学生生活支援活動をサポートして参ります。

奨学金貸与事業においては、近年の進学意欲の高まりの中で、高等教育機関へ進学する学生・生徒のニーズに適切な対応を図る観点から、充実に努めて参ります。返還率を向上させるため、今後各大学等のご理解、ご協力を賜り、奨学生の「返還意識の涵養」を図って参りたいと考えております。

留学生支援事業においては、留学生の確保と共に質の向上及び留学生への奨学金の支給等、各種支援事務を推進したいと考えております。

以上、年頭に当たり学生生活支援業務の課題と取組の概要を中心に申し上げます。

今後とも業務の一層の効率化を図り、事業の更なる充実発展を目指して努力いたします。旧来にも増してご協力をいただきたく重ねてお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。